教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	ネイル検定1級対策	◆科目コード	60722	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師 （実務経験あり）	◆授業の回数	3h × 90回（各10回）
◆受講対象者	ネイルコース選択者						
◆授業の目的と概要	トップレベルの総合プロネイリストとして必要とされる、イクステンション、リペア、アートの総合的な技能及び知識が要求される ネイリスト技能検定試験1級に合格することを第一の目的とするが、この授業で習得した技能および知識を、ネイルサロン実務でも応用が 利くように、ネイルサロンにおいてネイリストとして実務経験のある教員が、その経験を活かした授業を行う。						
◆到達目標	ネイリスト技能検定試験1級に合格し、サロンワークに対応できるアクリルスカルプチュア技術の修得につなげていく。						

	回	◆内容	◆小テスト
授業計画	§1	教材配布、説明。アクリルスカルプチュア学科（材料学）	チップ盛り
		ミクスチュアコントロール（ボール取り）	
		アプリケーション	
		・ブラシワークが正しくできているか（シート盛り）	
		・ローリングや角度が正しくできているか（ピンチ棒盛り、チップ盛り）	
	§2	フォーム装着	フォーム装着
		・フォームの持ち方、装着の仕方、装着時の注意点の説明	アプリケーション
		・正しくフォーム装着をし、アプリケーションができているか（ハンド）	ピンチング
		・色々な爪の形に対応しフォーム装着を適正に行い、アプリケーションができているか（相モデル）	
		ピンチング	
		・ピンチングについての説明	
		・ピンチングのタイミング、位置、入れ方が正しく行われているか	
	§3	チップオーバーレイ（相モデル）	チップオーバーレイ
		・爪に合ったチップのサイズ選びができていて正しく装着されているか	
		・1級採点項目基準でアプリケーションの完成度が高いか	
	§4	ファイル	ファイル
		・ファイル時の持ち方、支え、ファイル順序が正しくできているか	
		・アウトラインファイルが正しくできているか（先端・立て削り）	
		・表面ファイル（凹凸がなくスムーズな仕上がりか・サイドストレートが適正か・スクエアオフが出来ているか）	
	§5	・テーマに相応しいデザインであり、色彩が豊かでデザインのバランスがとれ細密度が高いアートを作成	1級アートテスト
		・3Dアートをメインアートとし、フラットまたはエンボスを組み合わせた仕上がり	
		・時間内にアート制作ができているか	
	§6	・サロンワークに適した、日常生活に対応できる程度の強度、耐久性のあるアプリケーションが	イクステンション統一
		できているか	
		・1級採点項目基準でアプリケーションがバランスよく統一できているか	
	§7	・1級採点項目基準でアプリケーションの完成度が高いか	アプリ・ファイル完成度
		・1級採点項目基準でファイル後の完成度が高いか	
		・ハイシャイン（曇りや傷がなく艶が出ているか）	
	§8	・モデルの扱い方が丁寧で効率的であること	1級模擬試験①
		・器具の使い方が正しく、手際よくリズミカル・スピーディであること	※検定試験採点基準
	§9	・1級検定指定時間内にて1級採点項目基準での完成度が高いか	1級模擬試験②
		・モデルの扱い方が丁寧で効率的であること	※検定試験採点基準
		・器具の使い方が正しく、手際よくリズミカル・スピーディであること	
		・1級検定試験実習を通してサロンワークに対応できる技術と知識が身についているか	

◆主な使用教材	『JNAテクニカルシステム ベーシック』（NPO法人日本ネイリスト協会）
◆評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、1級模擬試験および各sectionにおける小テストの合計点数により評価する。 ①検定模擬試験→ネイリスト技能検定1級実技採点基準に沿って採点し、§8～§9の平均を65点換算する。 ②§1～§7における小テスト→1回あたり5点×7回=35点 【評価】90～100点→A、70～89点→B、60～69点→C、59点以下→D ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	ネイル応用技術Ⅱ	◆科目コード	60727	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師 （実務経験あり）	◆授業の回数	3h × 50回

◆受講対象者	ネイルコース選択者
◆授業の目的と概要	取得した試験技術、知識を基本とした応用技術・知識の習得 サロンワーク技術として、相モデルを積極的に行い人の手での施術がスムーズに行えるよう、ネイルサロンで実務経験がある教員が 技術指導をする。 日本ネイリスト協会、各種商材ディーラーなどのネイルチップコンテストに積極的に参加し、生徒の向上心、技術習得する。
◆到達目標	就職した際に率先力となる技術、知識の習得。

	回	◆内容	備考
授業計画	§1	・ネイルマシーンを使用したネイルケア	ポリッシュアート
		・各爪に沿ったネイルケア対応	
		・アフターケアを含むネイルケア知識	
		・カラーポリッシュ、アクリル絵の具、パーツ類などを使用したチップ作成	
		・サンプルチップボードの装飾、作成	
		・パーソナルカラー、骨格診断を使用したカウンセリング知識の習得	
		・カウンセリング～ネイルケア～ポリッシュアート技術実践	
	§2	・ジェルグラデーション（検定色以外）	スカルプラメグラデーション
		・ジェルフレンチ（検定色以外）	
		・スカルプグラデーション（ラメパウダー使用）	
		・メーカー、カラーの違いにより操作の仕方や対応などを身につける	
	§3	・ネイルチップコンテスト参加（日本ネイリスト協会、各種ディーラー）	
		・自らでデザインを考え発信できているか	
		・学校行事、長期休暇前などのフリーネイルアート	
	§4	・ラメグラデーション（濃い色、薄い色）	1年生からの継続
		・サロンワーク基礎になるアクリル3D、エンボスのモチーフ技術習得	
	§5	・ネイルチップ作成を通し、基本的なジェルアート技術の習得	
		・試験教材以外でのネイル商材を使用した技術、アート実習	

◆主な使用教材	
◆評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、各sectionにおける実習技術成績の合計点数を100点換算し評価する。 ①§1～§5における実習・提出課題成績 【評価】90～100点→A、70～89点→B、60～69点→C、59点以下→D ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	ジェルネイル上級対策	◆科目コード	60725	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師 （実務経験あり）	◆授業の回数	3h × 40回

◆受講対象者	ネイルコース選択者
◆授業の目的と概要	サロンワークに必要なジェルネイルのジェルクリアスカルプチュア・ジェルチップオーバレイ・ジェルチップオーバレイフレンチ ジェルチップオーバレイアート技術及び知識が要求される、JNAジェルネイル技能検定試験上級に合格する事を目的とするが ネイルサロンで実務経験のある教員が、実務でも応用が利くように実務経験をふまえて授業を行う。
◆到達目標	・スタイリング（ラウンド、サイドライン、表面凹凸、Cカーブ、ハイポイント）の完成度 サロンワークに必要な専門的知識と技術の修得をする。

	回	◆内容	備考
授業計画	§1	ジェルクリアスカルプチュア基礎技術	
		・正しいフォーム装着・アプリケーションが出来ているか	
		・スタイリング（スクエアオフ、サイドライン、表面凹凸、Cカーブ、ハイポイント）の完成度	
		・表面の仕上がりの状態（バブル、たまり、艶、凹凸がないか）長さ、厚みが適切か	
	§2	ジェルチップオーバレイ基礎技術	
		・爪に合ったチップのサイズ選びができていて正しく装着されているか	
		・アプリケーションの完成度が高いか	
		・スタイリング（スクエアオフ、サイドライン、表面凹凸、Cカーブ、ハイポイント）の完成度	
		・表面の仕上がりの状態（バブル、たまり、艶、凹凸がないか）長さ、厚みが適切か	
	§3	ジェルチップオーバーレイフレンチ、ジェルチップオーバーレイアート基礎技術	
		・ベースカラー、フレンチラインの完成度	
		・テーマに相応しいデザインであり、色彩が豊かでデザインのバランスがとれ細密度が高い	
		・アプリケーションの完成度が高いか	
		・スタイリング（スクエアオフ、サイドライン、表面凹凸、Cカーブ、ハイポイント）の完成度	
		・表面の仕上がりの状態（バブル、たまり、艶、凹凸がないか）長さ、厚みが適切か	
	§4	・モデルの扱い方が丁寧で効率的であること	小テスト
		・器具の使い方が正しく、手際よくリズミカル・スピーディであること	ジェル上級模擬試験
		・ジェルネイルの技術を総合し、プロとしてサロンワークに適した強度、仕上がりであるか	※検定採点基準

◆主な使用教材	『JNAテクニカルシステム　～ジェルネイル～』（NPO法人日本ネイリスト協会）
◆評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、上級模擬試験の点数により評価する。 ①検定模擬試験→JNAジェルネイル技能検定試験上級に沿って採点し、100点換算する。 【評価】90～100点→A、70～89点→B、60～69点→C、59点以下→D ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	ネイル応用技術Ⅲ	◆科目コード	60728	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師 （実務経験あり）	◆授業の回数	3h × 60回

◆受講対象者	ネイルコース選択者
◆授業の目的と概要	衛生管理士資格、JNAフットケア理論検定資格の取得。
	検定試験以外でのネイルマシーン、基本アート～流行りのアートなど応用技術・知識の取得。
	サロンワーク技術に直結する技術をネイルサロンで実務経験がある教員が技術指導をする。
	就職サロン研修内容を元にサロンワーク技術を在籍中に取得
◆到達目標	就職した際に率先力となる技術、知識の取得。
	生徒の意見などを踏まえ、アート授業内容をし生徒の向上心、考える力を身に付ける。

	回	◆内容	備考
授業計画	§1	・衛生管理士講習会の受講をし資格を取得	
		・JNAフットケア理論検定試験を受験	
	§2	・サンプルネイルチップ作成をし様々なアート施術経験をし技術を習得する	
		・流行の商材を使用したアートでのネイルチップ作成	
		・ネイル画像を参考にアートの模写練習（相モデル・ネイルチップ作成）	
	§3	サロンワークの基本施術内容の実習	
		・サロンワークにおけるネイルマシーン技術の習得（リムーブ、ネイルケア、プレパレーション）	
		・基本的な施術内容と時間を設定し就職までに率先力となる人材を目指す	
		・ジェルネイル（ワンカラー・グラデーション・フレンチ・クリアジェル）	
		・サロンワークにおけるジェルネイルでの長さだし（ショート）	
	§4	・スカルプチュアを用いた爪の補強フローター・長さだし	
		・スカルプチュア（ワンカラー・グラデーション）	
		・スカルプチュアでの各スタイリング長さだし（オーバル・ポイント・バレリーナ）	
	§5	・その他、基本的なサロンワークアート（ミラーネイル・マットネイル・先端細フレンチなど）	
		・フットケアからフットジェルネイル、ネイルケアからジェルネイルもしくはスカルプチュアを1年生ネイル科	
		に実際にサロン形式で施術を行いサロンワークに慣れる。	
		・各就職サロン研修・試験内容実習をし入社までに技術力をつける	※春期ネイリスト検定受験者は 検定実習を行う。

◆主な使用教材	『JNAテクニカルシステム　～フットケア～』『衛生管理士講習会テキスト』（NPO法人日本ネイリスト協会）
◆評価方法及び基準	授業8割以上の受講をもって、各sectionにおける実習技術成績の合計点数を100点換算し評価する。
	①§1～§5における実習・提出課題成績
	【評価】90～100点→A、70～89点→B、60～69点→C、59点以下→D
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。